

患者の皆様 医療関係者の皆様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する NCGM センター病院 エイズ治療・研究開発センター（ACC）の対応

新型コロナウイルスの感染が拡大し、全国に緊急事態宣言が発出されました。外出の自粛要請のもと通院治療を続けられておられる患者さんや、日頃 HIV 診療に従事されている医療従事者の中には前線で新型コロナウイルスの診療に当たられ、不安な気持ちで過ごされている方が多いことと存じます。

ACC では、患者の皆さまに必要な医療を確実に提供するため、厚生労働省や全国の拠点病院、各支援団体と協力して HIV 診療体制の維持に邁進いたします。

【患者の皆様へ】

報道によって不安になっている方が多くいらっしゃることに懸念しております。残薬の確認と日々の体調管理に十分留意しお過ごしください。ご自身やご家族の新型コロナウイルス感染が疑われる場合や、今後の通院時の対策等について心配なことがありましたら、かかりつけの医師へご相談ください。

また、通院中の医療機関が職員の新型コロナウイルス感染により診療停止になった場合も、かかりつけの医師または他の診療担当者にご相談ください。ACC では、適宜厚生労働省と連携し、全国の HIV 診療連携ネットワーク・血友病診療連携ネットワークを活用し、すべての患者さんにおいて医療が途切れないよう、医療機関に対しても最大限の支援を行っております。

【医療機関の皆様へ】

職員の新型コロナウイルス感染により診療停止になり対応が困難となった場合、ブロック拠点病院または当 ACC へお早めにご相談ください。

また、COVID-19 のウイルス学や病態に関する正確な情報を確認し、適切な行動を取られることを切望します。参考となるエビデンスについて、4月16日に当センターウェブサイトで岡 ACC センター長の手記を掲載していますのでご参照ください。

2020年4月23日現在